

1. 特徴

RS422/RS485のドライバーIC ADM2587Eを使用した絶縁型RS422/RS485-TTL(CMOS)レベル変換基板です。RS422/RS485側とTTL(CMOS)側は完全に絶縁されています。CN4を付属のD-Sub 9P(オス)に半田付けして使用することができます。弊社姉妹品の「RS422」と互換性がありますが、絶縁距離確保のためD-Sub 9P側からの電源供給はできません。D-Sub 9P側からの電源供給はできません、6Pピンヘッダから供給して下さい。(3. 3V~5V)

2. 使用上の注意

- ①RS422(4線式)で使用する場合はJP8とJP9をオープンにしてください。
- ②RS485(2線式)で使用する場合はJP8とJP9をショートしてください。
また送信と受信の伝送路を兼用するため、送信のイネーブル/ディスエーブル制御が必要となります。
- ③送信のイネーブル/ディスエーブル制御を行う場合はJP6をショートし、CN3の④ピンから行います。(正論理)
- ④受信のディスエーブル/イネーブル制御を行う場合はJP5をショートし、CN3の④ピンから行います。(負論理)
(JP5、JP6をオープンにした場合は常時イネーブル状態となります。)
- ⑤必要に応じて終端抵抗R1(220Ω)を接続してください。(JP0をショートすると接続)
- ⑥JP7はCN3の④ピンと⑤ピンをショートするだけです。(RTS、CTSのループバック等にご利用ください。)
- ⑦電源は6PピンヘッダCN4から供給します。①ピンにGND、⑥ピンには+3. 3~5Vを接続します。
(電源の誤接続は直ちにICの破壊につながりますのでご注意ください。)

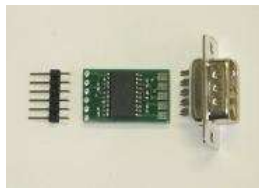


図1. キットの内容

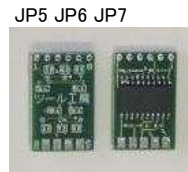


図2. ジャンパー設定

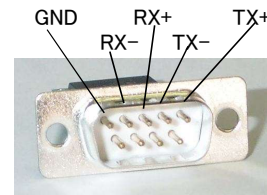
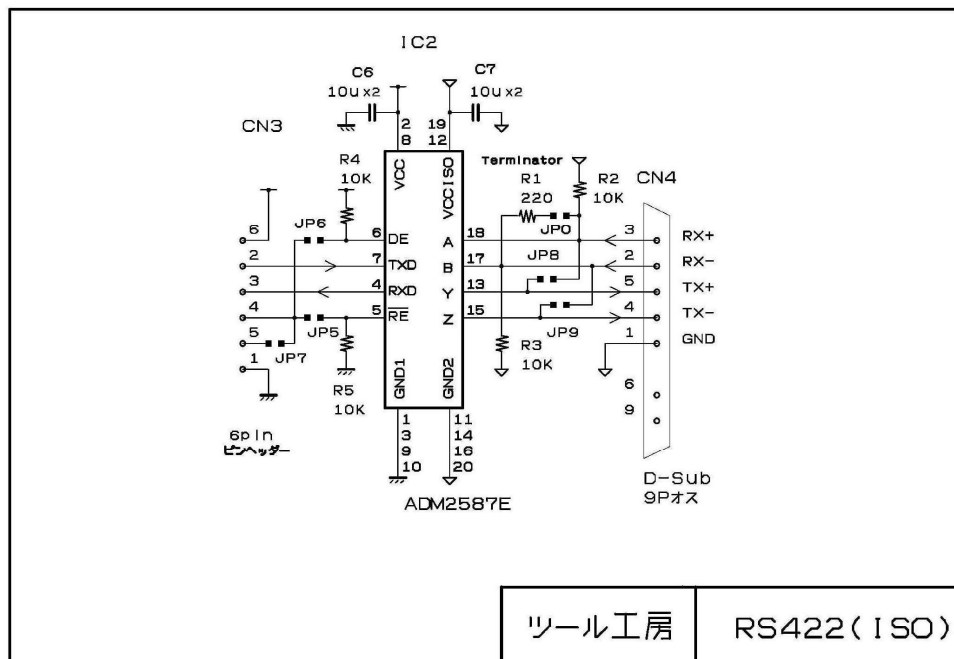


図3. 信号引き出し

3. 回路図



4. その他

- (1)本キットはインターフェースやICの使い方を学習・評価するために作られています。
ホビーや教材・実験以外の、高度な信頼性を必要とする装置や人命にかかわる装置に組み込むことはできません。
- (2)本キットを使用して生じた結果につきましては当社は責任を負いかねますので、ご了承願います。
- (3)キット組立て上、または使用上のミスによるトラブルにつきましては別途有償にて対応させていただきます。
- (4)また、本キットの内容は改良のため将来予告無しに変更することがあります。
- (5)なお、お気づきの点がありましたら、当社まで連絡をお願いいたします。

ツール工房株式会社

〒444-0055
愛知県岡崎市西魚町24番地3
TEL/FAX 0564-28-7531
Email office@tool-kobo.ddo.jp
http://tool-kobo.ddo.jp